

# 平成 25 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名                    海津 正倫

最終学歴	東京大学大学院理学系研究科単位取得満期退学（学位取得により修了）	
取得学位	理学博士（東京大学 博理1237）	
所属学会	日本地理学会，日本第四紀学会，日本地形学連合，東京地学協会，地理科学学会，東北地理学会	
専門分野	自然地理学，地形学，第四紀学，自然災害研究	
研究課題	沖積平野・海岸平野の地形発達史，第四紀末期の環境変動史，地球規模の環境変化と海岸環境，平野/海岸域の自然災害	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然地理学 I, II</li> <li>・地形学</li> <li>・地理学特殊講義（一）</li> <li>・地理学講読・調査法（一）</li> <li>・地理学演習（一）</li> <li>・地理学卒業演習（一）</li> </ul>
	大学院修士課程 担当科目 （博士前期課程含）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地形学特論</li> <li>・自然地理学演習 I・II</li> </ul>
	大学院博士後期課程 担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
	通信教育部担当科目	自然地理学
【研究上の特記事項】	日本第四紀学会において「沖積低地と自然環境変化に関する一連の研究」により学会賞，同学会誌掲載論文で論文賞を受賞した。	
【教育上の特記事項】	ゼミなどの授業にQGIS, GRASSなどのオープンソースのGISを取り入れ，フィールドワークのとりまとめなどに活用した。	
【社会的活動】	日本地理学会代議員，日本第四紀学会評議員，東京地学協会評議員，日本学術会議連携会員，国土交通省治水地形判定委員会委員関西地区委員長，愛知県埋蔵文化財調査センター専門委員，岐阜県図書館特別顧問，名古屋市新修名古屋市史資料編編集委員，豊田市史自然部会副部会長	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	文学部入試委員会委員長，人事委員会委員，ホームページ委員会委員	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
① 『スマトラ地震による津波災害と復興』	共著	2014年 2月	古今書院	第II章-2 アチェを襲った津波の節を分担執筆
② 『人文地理学事典』	共著	2014年10月	丸善出版	「海水準変動と地形発達史」の項を分担執筆
(学術論文)				
① Assessing the impact of 1498 Meio earthquake and tsunami along the Enshunada coast, central Japan using coastal geology	共著	2013年	Quaternary International, 308-309, 4-12.	浜名湖から流出する浜名川低地のボーリング調査結果および堆積物の分析により1498年の明応地震による津波堆積物を確認した。
② Delineation of small-scale landforms relative to flood inundation in the western Red River delta, northern Vietnam using remotely sensed data	共著	2013年7月	Natural Hazardz, online	衛星画像解析とSRTM-DEMデータに基づいてベトナム中部のThu Bon川低地の地形分類図作成方法を検討し、問題点等の検証を行った
③ 陸上掘削試料による津波堆積物の解析— 浜名湖東岸六間川低地にみられる 3400年前の津波堆積物を例にして—	共著	2013年5月	地学雑誌, 122, 308-322	浜名湖沿岸の六間川低地のボーリング調査結果および堆積物の分析により堆積環境の復元を行うとともに、3400年前の津波堆積物を確認した。
④ Tsunami Flow and coastal Change on the Sendai and Ishinomaki Coastal Plains caused by the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake	単著	2014年3月	奈良大地理 20, 23-29.	仙台・石巻平野における津波の流動の特徴について検討した。
⑤ 中国江南三角洲地貌的形成【中文译文】海津正伦(著) 鄒怡(译)	被翻訳	2013年10月	中国地理学会历史地理专业委员会『历史地理』第27輯, 374-386.	中華人民共和国江南デルタの形成に関する論考が中国語に翻訳された。

<p>(学会発表)</p> <p>① Tsunami Flow and Its Characteristics on the Coastal Plains of Tohoku Region, Japan</p> <p>② 仙台・石巻平野における津波の流動と土地条件</p> <p>③ The Meio 1498 earthquake and tsunami : driving force of abrupt environmental change in the Hamana floodplain, Shizuoka prefecture,</p> <p>④ 2011 Tsunami Flows and Its Characteristics on the Coastal Plains of Tohoku Region, Japan</p>	<p>単著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>単著</p>	<p>2013年8月</p> <p>2013年5月</p> <p>2013年4月</p> <p>2013年7月</p>	<p>国際地理学会議京都大会</p> <p>地球惑星科学連合大会</p> <p>European Geosciences Union General Assembly 2013</p> <p>TERM OF REFERENCE (TOR) International Seminar on Disaster Management “Communicating Multi-Scientific</p>	<p>仙台・石巻平野における津波の流動の特徴について検討し報告した.</p> <p>仙台・石巻平野における津波の流動の特徴について土地条件との関係に基づいて検討し報告した.</p> <p>浜名湖から流出する浜名川低地のボーリング調査結果および堆積物の分析により1498年の明応地震による津波堆積物を確認した.</p> <p>仙台・石巻平野における津波の流動の特徴について土地条件との関係に基づいて検討し報告した.</p>
<p>(その他) 学外 (国外) 学位審査委員</p> <p>① Deasy Arisanty Loan: MORPHODYNAMIC OF BARITO DELTA</p> <p>② Dwi Wahyuni Nurwihastuti: GEOMORPHOLOGICAL ANALYSIS ON THE EARTHQUAKE DAMAGE PATTERN-A CASE STUDY OF 2006 EARTHQUAKE IN BANTUL, YOGYAKARTA, INDONESIA-</p>		<p>2013年7月</p> <p>2013/7/1</p>	<p>学位審査</p> <p>学位審査</p>	<p>インドネシア共和国ガジャマダ大学の Deasy Arisanty氏の学位審査を外部審査員としておこなった.</p> <p>インドネシア共和国ガジャマダ大学の Dwi Wahyuni Nurwihastuti氏の学位審査を外部審査員としておこなった.</p>